

学生のプレゼンテーション能力の向上

背景・目的

音楽科学生のプレゼンテーション能力を向上させるため、2013年度・2014年度に引き続き、「文化系コロキウム」という場を設け、学生達に口頭発表をさせた。学習の成果を効果的にプレゼンテーションすることの重要性を学生達に認知させ、「伝える」ための技術を向上させるよう促すのが、本課題の目的である。

4年生の発表は卒業論文ないし卒業制作に基づくもの。研究生は一年間の仕事の総括だったので、当日に向けた発表の準備は年度始めから始まっていたと言ってよい。とはいえ、具体的な発表の準備が始まったのは卒論の提出を終えた1月以降のことであり、かなり早いピッチで作業は進んだ。学生達はそれぞれの担当教員の指導のもとで準備を進め、発表の前週までに配布資料を完成させた。

2016年度 宮城学院女子大学音楽科
文化系コロキウム
成長、実感!!

文化系4年生による卒業研究発表、研究生による研究発表。
音楽文化を縦横無尽に語り、奏でます!

2016年2月11日(木・祝)
開会14:00(開場13:30)
日立システムズホール仙台
(仙台市青年文化センター・エッグホール)

入場無料

【主 催】宮城学院女子大学音楽科
〒981-8532 仙台市青葉区宮城1-1-1
TEL / FAX 022-277-4139(音楽科)
E-mail music@mjpu.ac.jp
URL http://www.mjpu.ac.jp/music/

Information
2015年度 宮城学院女子大学音楽科 卒業発表会/論文・制作発表会
2016年3月4日(金) 18:00 / 19:00
創作活動のあり方を多角的に検証する!

実施内容

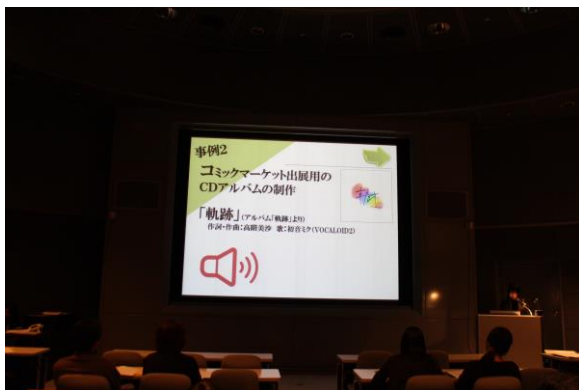
2016年2月11日に日立システムズホール・エッグホールでコロキウムを実施した。今年度は4年生が多く、4年生12名・研究生1名の発表時間だけで3時間を超過してしまうため、1~3年生の発表は行わず、代わりにスタッフとして、先輩の発表の様子を近くから見守ってもらうこととした。



13人の発表を3時間程度で行う必要があったことから、今回は個々の発表者に時間を守ってもらうのが大変だったが、学生達はうまく内容を整理し、それぞれに密度の濃い原稿を作成してくれた。すでに作品を完成させていた応用制作の学生が、時間的な制約がある中で、柔軟に対応してくれたことには特に驚かされた。



当日は午前 10 時よりリハーサルを行い、午後 2 時に開演。卒業論文 5 名（欠席 1 名）、卒業制作 6 名の発表の後、研究生 1 名の順で発表が続いた。来場者はおよそ 30 名で、和やかな雰囲気だった。発表の人数は多かったとはいえ、大きな機材のトラブルもなく、かなりスムーズに進行。すべての発表が終了したのは午後 5 時だった。



結果及び考察

来場者の反応は概ね好意的だった。実際、全体の水準は高く、今回の発表を経て、4 年生と研究生のプレゼンテーション能力が飛躍的に伸びたことははっきりと実感できた。

終了後は簡単な反省会を開き、発表者の労をねぎらった。これから卒業論文・制作に取り組む下級生と 4 年生、研究生との間で、就職や研究活動についての活発な情報交換が見られたことも、この催しのもう一つの成果と言える。OG が数名出席してくれたことで、情報交換の輪がさらに広がったことも嬉しい驚きだった。



文化系の募集は 2015 年度をもって最後となるが、現在の 1 年生が卒業するまで、こうした発表の場は教育的な見地から、やはりきちんと担保されなくてはならない。これからもそのような基本方針を守りつつ、文化系最後の卒業生が巣立つところまでうまくつないでいけるよう、担当教員一同、協力し合い、知恵を出し合うことをあらためて確認し合った。